

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.11.15 No.212 連絡先 FAX 042-555-1911



日米 4 万人参加の日米共同統合実動演習（キーン・ソード）始まる



横田ではC-17大型輸送機(写真)が訓練

島嶼（とうしょ）防衛を目的としたキーン・ソードが、11月8日から始まりました。

日本側は統合幕僚長の河野克俊海将を統裁官に、陸海空の隊員 30,700 人と艦艇約 25 隻、航空機約 260 機、米側は在日米軍司令官兼第 5 空軍司令官のサルヴァトーレ・アンジェレラ空軍中將を統裁官に、陸海空軍と海兵隊計約 10,000 人が参加します。今年はオーストラリア国防軍がオブザーバーとして初めて参加。 キーン・

ソードは日米の共同統合運用能力の維持・向上を図ることを目的に 1986 年度に開始され今回で 12 回目。日米共同統合指揮所演習（キーン・エッジ）とは開催年を交互に隔年実施。

横田基地で実施する訓練については、**共同統合輸送**として C-17 大型輸送機 1 機が期間中合計 5 回程度の離着陸を行う、ということですが、9 日には、4 機の C-17 が横田基地に飛来しました。

9 日は米空軍の要人輸送機で、主にアメリカ合衆国副大統領の搭乗機（エアフォースツー）として、またファーストレディや大統領顧問団、議会関係者の輸送にも用いられる C-32A が飛来。

米軍ステルス戦闘機 F-22ラプターが4機 11月6日 横田基地に飛来

11 月 6 日、13 時 8 分から 13 時 15 分にかけて、アラスカ州エルメンドルフ基地所属の戦闘機 F-22A ラプター 4 機が横田基地に着陸しました。

F-22A の横田基地飛来は、2012 年の横田友好祭 2 機展示以来で、今回のような飛来は初めてです。



F-22A は、7 日 14 時 11 分、4 機がいっせいに離陸。すごい爆音を街中に轟かせました。

嘉手納基地には 6 日に 8 機の F-22A ラプターが到着しており、合わせて 12 機となります。

朝霞駐屯地では 日米共同方面隊指揮所演習(ヤマサクラ67) 6,500人参加

11 月 6 日付けで、日米共同方面隊指揮所演習（12 月 2 日～ 15 日）の概要が出ました。

演習参加部隊：日本側の統裁官は陸上幕僚長・岩田清文陸将、演習担当官は東部方面総監・磯部晃一陸将、実施部隊は東部方面隊、陸上幕僚監部等 約 4,500 人。米軍の統裁官は太平洋陸軍司令官・ビンセント・ブルックス陸軍大將、演習担当官は第 1 軍団長・ステファン・ランザ陸軍中將、実施部隊は第 1 軍団、第 3 海兵機動展開旅団、在日米陸軍司令部等 約 2,000 人。

その他として、国民保護に係る図上訓練を 11 月 26 日（水）に実施予定。国民保護については埼玉県・東京都・あきる野市が朝霞駐屯地に参加するようです。

みちのくアラート参加のオスプレイ 故障多発？危険だ！ (No. 212 の裏面)

オスプレイ 2 機が、大規模災害訓練「みちのく ALERT (アラート) 2014」に参加し訓練をすることが報道されていきました。11月6日、南関東防衛局から「本日、午後、岩国飛行場及び厚木飛行場に到着する可能性がある」と行き先も機数も不明の情報が神奈川県に。そして、15時33分、15時59分、17時47分、とオスプレイ 3 機が、厚木基地に着陸しました。

11月7日9時5分、オスプレイ 2 機が仙台市の霞目(かすみのめ)駐屯地に向け厚木基地を離陸。ところが、9時33分、1機のオスプレイが、厚木基地に戻ってきました。結局、霞目駐屯地に行けたのは、オスプレイ 1 機でした。(写真：厚木基地を離陸するオスプレイ、神奈川県平和委員会提供)



「みちのく ALERT 2014」は9日午後終了。オスプレイ 3 機は、10日10時、厚木基地を離陸、岩国基地から普天間基地へと向かいました。訓練には自衛隊と米軍とオーストラリア国防軍に加え、東北6県の自治体と拠点病院など72機関から計約1万5500人が参加しました。

11月9日(日)～11日(火) 東富士演習場のオスプレイの離発着訓練は中止されました。

みちのくアラート「情報共有」看板倒れの現状が浮き彫りと地元

7日行われた大規模災害訓練「みちのく アラート 2014」では、主催する陸上自衛隊東北方面隊が、米軍の新型輸送機MV 22 オスプレイに関する飛行情報をほとんど入手できず、日米間の「情報共有」が看板倒れになっている現状が浮き彫りになった、と地元が報道。

東北方面隊が、オスプレイ 1 機が訓練に参加しないことを米軍から伝えられたのは、着陸予定時刻直前の午前9時55分ごろ。さらに、7日の訓練を終えたオスプレイは駐屯地に待機する予定だったのに、予告なく出発地の厚木基地に帰還してしまいました。

オスプレイは8日、気仙沼市大島で避難者の搬送訓練などに臨むことになっていたのに、東北方面隊は帰ってしまった事実を知らされず、報道機関に対し「霞目駐屯地に駐機しており、8日も駐屯地から出発する」と説明を続けていたそうです。

11月8日朝、オスプレイ 2 機が厚木基地を離陸しましたが、1機は訓練に向かう途中で引き返しました。理由は7日同様、方面隊は把握していません。8日午後には突然、別のオスプレイ 1 機が同駐屯地に飛来しました。方面隊には直前まで情報が入っていなかったそうです。河北新報社はこのようなニュースを伝えています。大手新聞は、どのように報道したのでしょうか。

自衛隊 親子に声かけ 小さい子どもに迷彩服を着せ「子ども自衛官だ」



桶川市民祭りで自衛隊埼玉地本がジープを展示。通りかかった市民の親子に声をかけて、自衛隊の迷彩服を着せて写真を撮ったり、小さい子どもをジープに乗せて「子ども自衛官だ」「将来自衛隊に入るかな？」などと声をかけながら、記念写真を撮らせ、自衛官募集のチラシ入りのクリアケースやシールを配っていました。

何で、「市民祭りに自衛隊なのか?」「誰が許可したのか?」「ここまで自衛隊が進出するのは集团的自衛権行使容認の影響か?」などの疑問が生じました。と便りが届きました。あなたの街ではどうですか。